

暑さが落ち着き、ようやく朝晩に秋の風を感じるようになってきました。過ごしやすい気候となる一方で、朝晩との気温差で体調を崩しやすい季節です。健康管理に十分気を付けて過ごしましょう。

RSウイルス感染症

秋から冬は様々な感染症が流行しやすい季節です。今回はその中の1つであるRSウイルス感染症についてお話ししたいと思います。RSウイルスは身近なウイルスで、免疫のある大人にはごく軽い風邪ですが、初めてかかるこども、特に6ヶ月未満の赤ちゃんや高齢者では症状が重くなります。家族全員で予防しましょう。

◎RSウイルス感染症とは、どんな病気？

咳が出て、呼吸がゼロゼロしたり、高い熱が出る事も。

RSウイルス感染症は、「咳がひどい風邪」と思っている人が多いようですが、特に乳幼児では高い熱が数日間続く事がほとんどです。咳以外にも「ゼイゼイする息苦しさ」を伴い、夜眠れなくなってしまう事もあります。また、症状の回復後に中耳炎の合併もしばしばみられます。

◎なぜ注意が必要なのか？

小さいこどもほど重い症状が出ます。

RSウイルス感染症は、初めてかかった時に重い症状が出るのが特徴で、気管支炎や肺炎で入院が必要になる事もあります。

◎治すにはどうしたらいい？

特効薬はありません。安静にして休ませましょう。

RSウイルスに効く薬はありません。ゆっくり休んで、体がウイルスを退治するのを待ちましょう。登園を再開するには、「ゼロゼロした呼吸音や咳が治まり、全身状態が落ち着き、いつもの食事が摂れる状態まで回復している事が必要です。

◎予防に必要な事は？

周囲がマスクをつけ、こまめに手を洗いましょう。

RSウイルス感染症は、2回目以降の感染では症状が軽くなる事がほとんどで、大人は軽い咳が出る程度の事もあります。その為、周囲の人が知らないうちに、こどもにうつす可能性があります。咳や鼻水の症状がある時は、大人がマスクを付けましょう。また、ウイルスは手を介してもうつるので、こまめに手洗いをしましょう。

手洗い

きれいな
手の洗い方

 腕まくりをし、水道水で手を濡らします。	 石けんをしっかりと泡立てます。	 手の平を合わせて洗います。	 手の甲を洗います。
 指と指の間を洗います。	 指先、爪の中を洗います。	 手首を洗います。	 石けんを流し、清潔なタオルで拭きます。